

森には魔法つかいがある

学習のねらい

- ① 伝えたいことの中心を捉える。
- ② 論の展開に着目し、問いに対する答えを見つける。

確認

文章の流れをつかもう

「森には魔法つかいがある」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめました。①～⑤にあてはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

カキの赤ちゃんに食べさせる植物プランクトンの培養がうまくいかない。
↓ 雑木林から集めた「①」を入れると、プランクトンが増える。

それが何なのかはわからないが、森には魔法つかいがある。

（昭和三十年代から四十年代）工業優先の時代

カキの養殖場である河口は影響を受け、成長が悪くなり、ときには死ぬ。

（一九六二（昭和三十七）年）カキ養殖業を継いで、漁師になる。

・ ② が荒れ、水田地帯には生き物の気配がない。

「きれいな海を取り戻すにはどうしたらいいだろう。」

三十年後に
正体が判明

「森と川と海は一つなのだ。」という価値観を ③ しなければならない。

（一九八九（平成元）年九月）漁師による森づくり。森は海の恋人。

・ 森林は海に ④ を供給する役目をしている。

・ 海には鉄が少なく、川の水が沈まない鉄（Ⅱフルボ酸鉄）を運んでいる。

（二〇一一（平成二十三）年三月）東日本大震災

・ 海から生き物の姿が全く消えたが、海の中には植物プランクトンがある。
Ⅱ長年、森と川の ⑤ を整えてきた成果。

確認

要旨をつかもう

次のあらましを読んで、作品の要旨としてふさわしいものをあとから選び、記号で答えなさい。

カキ養殖をする漁師となった筆者は、きれいな海を取り戻すために、「森と川と海は一つなのだ」という価値観を共有する必要性を感じる。

海にはもともと鉄が少ない。川の水が、森林の腐葉土から「フルボ酸鉄」を海に運んでいるのである。

森が大きくなり、川もきれいになった二〇一一年に東日本大震災が起こり、海から生き物の姿が全く消えてしまったが、海の中には植物プランクトンが生きていた。これは、長年、筆者たちが森と川の間を整えてきた成果なのである。

ア 一度失ってしまった自然環境は、なかなか取り戻すことができない。

イ 森林の「フルボ酸鉄」を海に届ける川こそが、最も大切にすべき環境である。

ウ 海をきれいにするためには、森と川の間を整える必要がある。

参考資料

【筆者紹介】

はたけやましげあつ

畠山重篤：一九四三年、中国で生まれる。カキ・ホタテの養殖家。『漁師さ

んの森づくり』『鉄は魔法つかい』『人の心に木を植える』などの

著書がある。

結論

本論

序論

ア 鉄 イ 腐葉土 ウ 環境 エ 山 オ 共有

漢字の読み書き

次の——線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

- (1) 魔法をかける

□(2) 東京湾の夜景

□(3) 入り江の魚

□(4) ウミガメの産卵

□(5) 若い世代の意見

□(6) 深刻な事態
- (7) 干潟の生き物

□(8) 廃水が流れ出る

□(9) 泥水につかる

□(10) 広葉樹の森

□(11) 水を供給する

□(12) 窒素の割合
- (13) 細かい粒子

□(14) 壊滅的な打撃

□(15) 物語の背景

□(16) 学校がセツリツされる

□(17) ゾウキバヤシで虫を採る
- (18) 部活動をユウセンする

□(19) アカシオの大発生

□(20) 外国でクらす

□(21) ノウヤクを使わず野菜を育てる
- (22) ヨクネンに行われる大会

□(23) ケツエキの成分

□(24) 物資をトドける

□(25) 人間に必要なエイヨウソ
- (26) ジュウヨウな書類

□(27) コウリツよく家事をする

□(28) 土にヒリヨウを混ぜる

□(29) 当選にフカケツな条件
- (30) 日々の努力が功をソウする

重要な語句

次の言葉の意味を答えなさい。または、その言葉を使った例文を書きなさい。

① 深刻		② しわ寄せ		③ 価値観		④ 確信	
例文	意味	例文	意味	例文	意味	例文	意味
深刻な表情で悩みを打ち明ける。		うまく行かない点を他に押し付けること。		彼とは価値観が異なる。		行事の成功を確信する。	

問題 次の各文の空欄にあてはまる言葉を、「重要な語句」の中から選び、書きなさい。

- (1) 自分の失敗の□が後輩にいく。

□(2) 残り時間が少なくなり、勝利を□する。
- (3) 状況は悪化し、□な事態に陥る。

□(4) 人それぞれ□が違うのは当然だ。

森には魔法つかいがある (1)

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

□(1) — 線①「プランクトンが増えたよ」とありますが、研究者たちは何をしたのですか。次の文の□ A・Bにあてはまる言葉を、Aは三字、Bは

五字で文章中から書き抜きなさい。

雑木林で集めた□ A を処理し、□ B に入れた。

A	
B	

□(2) — 線②「干潟は埋め立てられて工場が建ち、工場廃水が海にたれ流しに

されました」とありますが、このようなことが行われていたのはなぜですか。

だったから。

□(3) — 線③「カキの養殖場」について、次の問いに答えなさい。

A どこに作られますか。文章中から二字で書き抜きなさい。

--	--

B Aに作られるのは、なぜですか。文章中の言葉を使って書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--

20

15

10

5

(畠山重篤「森には魔法つかいがある」より)

(注) 腐葉土…落ち葉が積もって腐^{くさ}ってできた土。

ろ過…液体をこし取って、ごみなどを取り除くこと。

汽水…河口付近などの、海水と淡水^{たんすい}が混合した塩分の少ない水。

珪藻…渦鞭毛藻…植物プランクトンの一種。

赤潮…プランクトンの異常発生により、海の水が赤っぽく見える現象。

読解のコツ

◎伝えたいことの中心を捉^{とら}える。

筆者が伝えたいことの中心は、文章の最初や最後に書かれています。

↓学習のねらい①

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

今井先生の言葉を受けて、「海」ばかりではなく「森」を見る必要性があることを伝えたと考えられます。

□(4)

——線④「カキの成長が悪くなり、ときには死んでしまいます」とありますが、それはなぜですか。「……したから。」に続くように文章中から三十字で探し、初めと終わりの四字を書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--

したから。

□(5)

——線⑤「はっとしました」とありますが、それはなぜですか。次の文の□にあてはまる言葉を文章中から書き抜きなさい。
□という今井先生の言葉を思い出したから。

□(6)

この文章で筆者が伝えたいこととして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 山の腐葉土は、どんなものにも効く自然の栄養源なので、何よりも大切にしなければならぬ。

イ 海をきれいにするためには、海のことばかり考えるのではなく森の環境^{かんきょう}について考えなければならない。

ウ 一度汚れた海はなかなか元に戻らないので、工場廃水を海にたれ流しにしていたような時代を繰り返してはならない。

エ カキの養殖を盛^{さか}んにさせるためにも、海の中でも汽水域を特に保護していかねばならない。

森には魔法つかいがある (2)

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

□(1) — 線①「そのため」とありますが、何のためですか。次の文の□

にあてはまる言葉を文章中から書き抜きなさい。

川の流域に暮らす人たちと、海の漁師たちとで、「□□」。という価値観を共有するため。

□(2) — 線②「大川上流の室根山に、落葉広葉樹を植える運動」とありますが、

この運動を何と言いますか。文章中から六字で書き抜きなさい。

□(3) — 線③「赤血球は酸素と仲よしなのです」とありますが、会話文以外で

このように話し言葉が用いられている一文を、これより前の部分から探し、初めの五字を書き抜きなさい。(句読点も字数に数えます。)

□(4) — 線④「このような芸当」とは、どのようなことですか。二十字以内で書きなさい。

25

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

35

30

（畠山重篤「森には魔法つかいがある」より）

読解のコツ

◎論の展開に着目し、問いに対する答えを見つける。

↓学習のねらい②

「森には魔法つかいがある」では、大きい問いを解決するために、途中に小さい問いと答えを繰り返すという方法で、文章が展開しています。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

読み手に問いを提示することによって、興味や関心をひいたり、問題意識をもたせたりすることができます。

□(5) —線⑤「植物と鉄とは、どのような関係にあるのでしょうか」とありますが、その答えとして適切なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 鉄は、植物が生長するときのみ、必要な栄養源である。

イ 鉄が不足すると、植物の生長が止まってしまい、枯れてしまう。

ウ 植物が光合成を行うための葉緑素を作るために鉄が必要である。

エ 植物が窒素やリン酸などを取り込むのに鉄の助けが不可欠である。

オ 植物は、岩石や土の中の鉄を根から吸い上げることで吸収している。

☐☐

□(6) —線⑥「海にはもともと鉄が少なく」とありますが、それはなぜですか。

次の文の□にあてはまる言葉を十字以内で書きなさい。

鉄は、水に溶けた状態で酸素に出会うと、粒子となって□から。

□(7) □にあてはまる言葉として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 山の土 イ 川の水 ウ 海の水 エ 森林の風

☐

□(8) —線⑦「フルボ酸鉄」とは、どのようなものですか。文章中の言葉を使って書きなさい。

まとめテスト

森には魔法つかいがいる

得点

100点

教科書

P. 90 ~ P. 101

1 次の文の空欄にあてはまる言葉をとから選び、記号で答えなさい。

2点×9 18点

- (1) カキ養殖の漁師になった筆者は、きれいな海を取り戻すためには「森と川と海は①なのだ。」という価値観を共有する必要性を感じ、漁師による森づくり、森は海の②という植樹運動を始める。その翌年、森林の③でできる沈まない鉄「フルボ酸鉄」が、④によって海に運ばれるメカニズムを知り、森にいる「魔法つかい」の正体が「フルボ酸鉄」であると判明する。

二〇一一年の⑤では、海から生き物の姿が全く消えてしまったが、

- ⑥は生きていた。これは、長年、筆者たちが森と川の環境を整えてきた成果なのである。

ア 植物プランクトン イ 腐葉土 ウ 東日本大震災 エ カキ
オ 恋人 カ 一つ キ 川の水 ク 友人

□(2) 「森には魔法つかいがいる」では、「①とは何か」という大きい問い

に対する答えを探すために、筆者の経験や見聞から生まれる小さい疑問を解決していく展開になっている。「魔法つかい」の正体がわかったのは、最初に疑問を抱いてから②のことで、その正体は「フルボ酸鉄」であった。筆者が海を守るために③を行ってきたのは正しかった証明にもなっている。

ア 三十年後 イ 海 ウ 森づくり エ 魔法つかい オ 三年後

2 次の線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

2点×12 24点

- (1) まるで魔法のようだ □(2) 会社を設立する □(3) メダカの産卵
□(4) 需要と供給 □(5) 粒子を調べる □(6) 壊滅的な状況
□(7) 入り江で泳ぐ □(8) ゾウキバヤシ □(9) ナカマを集める
□(10) ドロミズがはねる □(11) 手紙をトドける □(12) 功をソウする

3 次のア～カの各文のうち、線の使い方が正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

完答 8点

- ア 深刻な状態になり安心する。
イ 手を抜いたしわ寄せが今頃来る。
ウ 価値観が一致したため、協力することを諦めた。
エ 彼の意外な一面に驚く。
オ 不安な要素がたくさんあり、成功を確信した。
カ 心配はしていたが、やはり予想通りの結果になった。

□

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（畠山重篤「森には魔法つかいがいる」より）

25 20 15 10 5

□(1)

——線①「それ」が指している内容を、文章中の言葉を使って書きなさい。

10点

□(2)

——線②「赤血球」についての説明として適切でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

5点

ア 酸素を体の隅々まで運んでいる。

イ 鉄を含んだ細胞である。

ウ 脳をはたらかせるはたらきがある。

エ 酸素の多いところで酸素をつける。

☐

□(3)

——線③「地球の目方の三分の一は鉄なのだそうです」とありますが、このことから地球を何にたとえていますか。文章中から四字で書き抜きなさい。

5点

□(4)

——線④「水に溶け出した鉄は、酸素と出会うと粒子（粒々の塊）となって沈んでしまいます」とありますが、この結果、海はどのような状態にありますか。「鉄」という言葉を使って書きなさい。

15点

□(5)

——線⑤「川の水が、沈まない鉄を運んでいる」とありますが、このように言えるのはなぜですか。文章中の言葉を使って書きなさい。

15点